



第10号「うずまのほたる」発行にあたり

ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会 会長 森田 弘

「うずまのほたる」も今回で第10号を発行することができました。お忙しい中、夜遅くまで会議に出席し準備して下さった広報班の皆様のご協力のおかげです。ほたるの活動もこうした広報班・飼育班・施設班・教育班・イベント班といったそれぞれの班の皆様に支えられ7年目を迎えられることに大変感謝しております。

地球環境が世界的に重要な問題になっている今、自然環境を守ることが重要かつ大変難しくなっています。今まで当然のように私達の周りにあった自然が人間の利便な生活と引き換えに失われつつあります。自然が壊されつつある今、一度失った自然環境を取り戻すことの難しさをこのほたるの事業を通して改めて感じています。40～50年前にはのどかな中地区に当然のようにいたほたるが、現在では1匹もいなくなりました。

中地区にほたるを取り戻すことは中地区の自然を取り戻すことです。子供達・自治会・PTA・学校の皆さんと中地区をあげて自然環境の大切さを訴えながらこの活動を続けていきたいと思ひます。ご協力よろしくお祈いします。

ふるさと中地区にほたる舞う

～第6回ほたるを観る会～



6月8日(金)・9日(土)の2日間『ほたるを観る会』が行われました。ほたるを観る会は去年から式典は昼間になり、大久保市長さんをはじめ多数のご来賓の方々のもと中小児童による発表や、劇を交えた〇×クイズ等で盛り上がりました。イベントでは6回目を迎えたほたるかご作りや幼虫観察、ビデオコーナーに今年からもう一つおりがみコーナーが加わり、子供達はおりがみでほたるを折り大喜びでした。夜店では美田商工会・旧PTA本部役員さんの御協力でほたるを観る会のイベントとして大変な賑わいでした。今年はずっと早過ぎる5月中旬からのほたるの光に心配もしていましたが、8日・9日のほたるを観る会までたくさん光り続けてくれて参観の人々を喜ばせてくれました。



—6年生発表—
全員で今まで調べてきたほたるの環境について発表しました。



—〇×クイズ—
クイズ出題の子供達がほたるに変身!みんな答えが分かるかな?



—ほたるかごづくり—
みんな素的なほたるかごが出来ました。

おりがみでほたるを折ろう!

折り紙コーナーではお話の会ボランティア「おとぎのくに」のみなさんにご協力をいただき子供達と一緒に折り紙でほたるを折りました。出来上がったほたるをパネルに貼ったり大切に家に持ち帰ったりと…。今年初めての試みでしたが、低学年を中心にたくさんの子供達が折り紙に挑戦し、パネルにたくさんのほたるが飛び交いました。とても楽しくすてきな作品が出来上がりました。そのパネルはいま、学校の玄関に飾ってあります。

子供達と楽しい時間を過ごしました。中にはとてもユニークなほたるもありました。
青木 環



—どう折るの?—

小さな手で一生懸命に折る姿が可愛いらしかったです。
白石 都

親子で折ってくださった方もたくさんいて楽しいひと時を過ごしました。
池羽 径世

たくさんの子供達が参加してくれました。真剣に折ったほたるは個性豊かに出来上がり、みんなのうれしそうな笑顔が可愛らしかったです。
渡邊 理恵



—折ったほたるをパネルに—

たくさんの方が興味を持ってくださりとても楽しく出来ました。
松田かおり

ほたるを観る会にはPTA役員 OB・美田商工会の方々の賛助もあって賑わいました。



—PTA売店—
今年も子供達に大人気の売店。みんなの大好きなアイスクリーム



—美田商工会売店—
みんなで和気あいあいポテトフライ・やきそば、いただきます!

ほたるを観る会の感想と活動 — 1年～6年 —

1年
ほたるをみるのがはじめてだったので、とてもたのしみでした。ほたるはほしみたいにきらきらひかっけきれいでした。

1年
ほたるをはじめてみました。あみについていたのでよくみえました。ぴかぴかしててとてもきれいでした。

2年
ほたるのおり紙づくりにちょうせんしました。はじめて作ったけれどうまくできたのでおとうにもあげました。

2年
かぞくといっしょでほたるを見に行きました。たくさん光っていて、ほたるたちがふわふわととびまわりとってもきれいでした。

3年
イベントで友達と弟とほたるのおりがみを折りました。いろんなパネルの展示を見ました。ビオトープではきれいに光るほたるを見ました。ほたるを観る会は楽しかったです。

3年
イベントのおりがみコーナーで友だちとほたるが折れてとても楽しかったです。売店でもたくさん食べました。ビオトープのほたるもきれいに光ってとても良かったです。

4年
きれいに飛んだほたるを見たのは今年で4回目でした。8日・9日の2日間でしたがいつもより多くほたるが飛んでとてもきれいでした。

4年
ほたるを見ておしりから出ている光が幼虫のころから光っていることを知りました。葉っぱにたかったほたるが光ったり消えたりしているのがとてもきれいでした。

- 5年 総合学習でうずま川の調査をしました。ざっそうが生えごみもたくさん落ちていました。このせいでほたるがいなくなったのかなと思いました。カワニナは用水路からとってきて育てました。うずま川にほたるを飛ばすという私たちの夢のはじめの一步なので話をがんばりました。
- 5年 巴波川の調査をしたら水はきれいでした。川の周りもきれいにしようと思いの日にゴミ拾いをしました。また、カワニナ飼育ではキャベツやニンジンを持ってあたえたり水温を計ったり夏休みも一日おきに誰かが来ました。ほたるが元気にきれいに光ってくれるんだと思うと飼育も楽しかったです。
- 6年 6年生はほたるを巴波川に戻すために総合学習で追究したことを発表しました。先輩から受け継いだほたるに関することを発表し、これから中小学校としてどう進めていくかを話しました。最後にこれからの夢や主張を「短歌」に載せて会場の皆さんに伝えました。みんなで蛍橋から美しく飛び交うほたるを観賞出来る日が来ることを信じています。
- 6年 実行委員長として「ほたるを観る会」が心に残る会になるように5月から準備をしました。クイズを工夫しました。実行委員がほたるの衣装をつけてみようと思われ、黒ビニール袋・ラシャ紙・カチューシャで衣装を作りました。クイズは寸劇で問題を出す形にし、みんなで台本を考えて練習しました。当日は司会進行もやりました。大変でしたがみんなから「良く出来たね。楽しかったよ。」とってもらって、楽しい会にするため頑張ってきてよかったと思いました。よい思い出になりました。

— ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会 — 活動紹介

平成13年度発足した本会は「飼育」「施設」「教育活動」「広報」「イベント」の各班を柱として中地区の皆様方のご理解とご協力と得て輪が広まり市内全域から多大の評価を得ています。これは中地区に住む私達の誇りでもあり「中地区に住んでよかったなあ。」とつくづく思うこの頃です。本会の活動の一端を紹介します。

「あいさつ通り」に提燈

夜道の安全のための提燈飾りを6月6日に実施しました。提燈は当日来場された方々の夜道を明るく照らし、ほたるを観る会のムードは一段と盛り上がりました。

光避けのシート張り

ビオトープ周りに鋼鉄線を張りめぐらし、そこへ大きなシートを下げる大変な仕事も回を重ね、役員さんにより要領よく作業がすすめられました。ほたるを観る会はこのように役員さんのご協力により運営されています。



—夜道の明かり—

巴波川にほたるを飛ばしたい！

これが私たちの大きな願い。そのためにはカワニナの棲める綺麗な川を取り戻したい。自治会の協力を得て8月の一斉清掃のときに巴波川の清掃を組み入れてもらってから2年目を迎えた。今年は清掃用具を携えて実行しようとしたが、草が深くて清掃にならなかった。残念でならない。次の手を考えようぜ。

自治会連合会長 神山 宜久

田んぼの学校への協力

ほたる飛び交う運動の会の役員さんはほたるに関する協力だけでなく「田んぼの学校」の事業にも積極的に参加しています。

後5月の田植え、9月の稲刈り、10月の脱穀の際には子供達や保護者の皆様と一緒に活動し心地よい汗を流しました。えのき祭で収穫したお米で作ったおにぎりをおいしそうに食べる子ども達を想像して、今後も学校のために協力します。

中地区皆さんの善意に感謝

ほたる飛び交う中地区を目指す会の活金のための廃品回収がPTA・ほたるの会の役員さんのご協力

6月23日に行なわれ、学校の集荷場へ次々と善意の品物が運び込まれました。各地区から集められた古新聞・空き缶・ダンボール・ビン類等の量の多さに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

324,780円の収益はほたるの活動のために有効に使わせていただきます。大変ありがとうございました。



ほたる一口メモ

蛍二十日にせみ三日

盛りの短いことのとえとして昔から使われていた「ことわざ」です。事成って驕り高ぶる者への戒めに言われました。でも実際のほたるは約7日から10日程度の寿命です。



冷光

ローソクやライターの水素の光は物質が燃焼する時に熱エネルギーが発光するのに対し、蛍の光はまったく発熱を伴わない燃焼です。このような光を「冷光」といいます。

石碑 除幕式



本会発足当時の校長であった羽金勝子先生から寄贈された基金をもとに建てられた「ほたるのビオトープ」の石碑除幕式が、ほたるを観る会に先立って行なわれました。

御影石にほたるのイラストが入った立派な石碑はこれからシンボルとして長い間「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」の活動を見守ることになります。

～ 編集後記～

「うずまのほたる」発行は今回で10合目を迎えることになりました。ほたるのビオトープを盛り上げていけるように、これからも頑張ってお手伝いさせていただきます。

—うずまのほたる— 広報班

田波耕太郎・田中 佐一・神山 芳典・神山 宜久
青木 誠・小林 まき・浮田 雅子・木村 優子
五月女ナナ・増田 真弓・秋本ひとみ・田中 國雄
佐藤 茂男・田澤 均